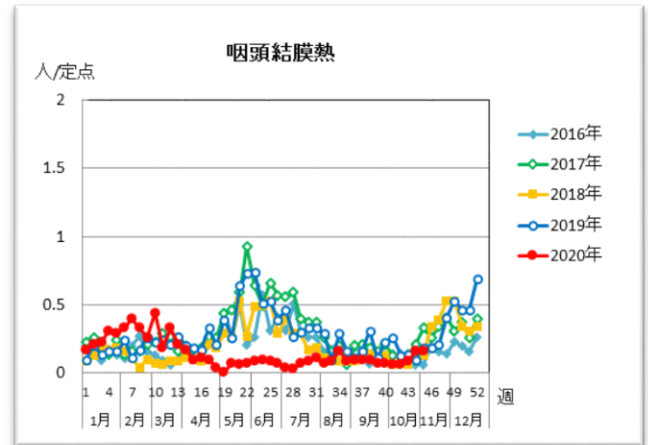
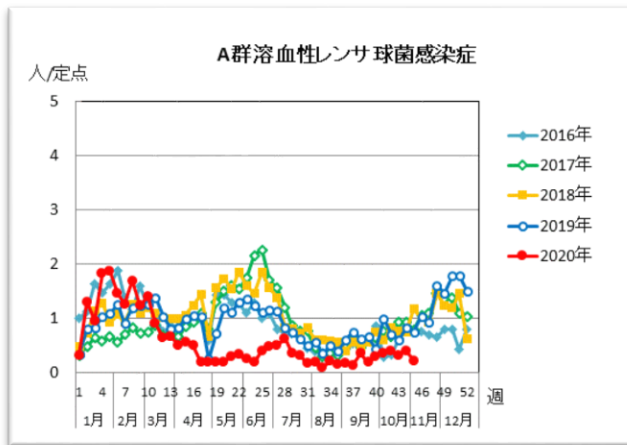


溶連菌感染症とアデノウイルス

今年の上半期は、新型コロナウイルスの感染予防を一人一人の方が心がけて行っていたため、去年の冬から流行していたインフルエンザの感染者もぱったりと見なくなりました。その後も手足口病などの夏カゼも全く耳にしないほどでしたが、最近になって、溶連菌感染症（正式名称：A群溶血性レンサ球菌感染症）や、アデノウイルス（正式名称：咽頭結膜熱、流行性角結膜炎）に感染している小児患者さんが出はじめてきました。



☆☆ 溶連菌感染症

4月～7月、11月～3月に流行する感染症で、主な症状は高熱とのどの赤みや痛みです。身体や手足に赤い発疹ができたり、頭痛、腹痛、首筋のリンパ節の腫れなども認められることがあります。

溶連菌感染症と
診断されたら…

抗生剤を10日間飲み続け、ウイルスを撃退させます。
その他、高熱や咳、鼻水などの症状に対するお薬を必要に応じて飲みます。
抗生剤を飲みきったら2回検尿をさせていただきます。

☆☆ アデノウイルス

「はやり目」や「プール熱」などと言われるお風邪のウイルスです。夏ごろに感染者が増加する傾向がありますが、一年を通して発生します。主な症状は、発熱、頭痛、咽頭炎によるのどの痛み、目の充血、めやになどがあります。

アデノウイルス感染症と
診断されたら……

このウイルスには特効薬がないので、発熱や咽頭痛、充血などの症状に対するお薬を必要に応じて飲みます。

このウイルスたちは、飛沫感染や接触感染などでうつります。学童期のお子さんに多くみられますが、まれに成人の方もかかることがあります。また、過去に感染したことがあっても再度かかることがあるので注意が必要です。

感染予防について日常生活で以下の点に気を付けましょう！

- ★感染者との密接な接触を避ける
- ★せっけんでの手洗いやうがいを
- ★家庭内ではタオルや食器などを別々に使用する

かかったかな？と
思ったら…

何よりも早めにかかりつけの医療機関を受診しましょう。
安静・休養・睡眠を十分にとり水分補給を忘れずに摂りましょう。